

令和 5 年度しょうけい館運営事業計画案

目次

． 令和5年度しょうけい館運営事業予算	1
． 運営の基本的考え方	
1． しょうけい館移転に関する業務の完遂	2
（1） 休止の可能性のある活動	2
（2） 新施設での安定した運営への尽力	2
（3） 現施設の閉館まで安定した運営と新施設の案内告知 および円滑な施設運営	2
2． コロナ対応社会での活動指針	2
（1） 適切な感染予防対策の継続的な実施	2
（1） コロナ感染醸成を理由に休止していた活動再開の検討と実施	3
． 個々の事業についての計画案	
1． 展示関連事業	4
（1） 企画展	4
（2） ミニ展示からコレクション展示へ	4
（3） 証言映像上映	4
（4） 3館連携企画展	5
2． 資料保存関連事業	5
（1） 資料寄贈	5
（2） 資料の購入	5
3． 教育啓発関連事業	6
（1） 次世代の語り部事業	6
（2） 証言映像	6
4． 情報センター関連事業	6
（1） データベース・検索システム	6
5） 普及・広報事業	6
（1） ホームページ	6
（2） しょうけい館友の会	7
（3） 各広報誌への掲載	7

令和5年度しょうけい館運営事業予算

	R4年度予算	R5年度予算案	対前年度比
総額	195,561 千円	173,565 千円	21,996 千円
(内訳)			
運営経費	107,967 千円	91,716 千円	16,251 千円
人件費等	22,041 千円	21,937 千円	104 千円
管理諸費等	85,926 千円	69,779 千円	16,147 千円
事業経費	53,473 千円	70,133 千円	16,660 千円
人件費等	22,849 千円	22,742 千円	107 千円
資料収集等関係費	3,087 千円	10,768 千円	7,681 千円
展示保守等経費	3,613 千円	1,904 千円	1,709 千円
運営要員経費	2,100 千円	4,200 千円	2,100 千円
企画展製作経費	1,754 千円	1,754 千円	0 千円
小中学生用展示解説書製作経費	505 千円	505 千円	0 千円
地方展の開催経費	3,344 千円	3,344 千円	0 千円
若年世代来館促進経費	950 千円	950 千円	0 千円
資料データベース更新経費	9,300 千円	8,124 千円	1,176 千円
証言映像収録費	0 千円	0 千円	0 千円
語り部育成事業経費	0 千円	0 千円	0 千円
語り部活動経費	4,696 千円	4,696 千円	0 千円
広報・催事用グッズ作成経費	1,275 千円	1,275 千円	0 千円
リニューアル開館関係費	0 千円	8,012 千円	8,012 千円
次世代継承推進費	0 千円	1,859 千円	1,859 千円
しょうけい館の移転経費	20,734 千円	0 千円	20,734 千円
基本計画策定経費	0 千円	0 千円	0 千円
基本設計・実施設計業務経費	0 千円	0 千円	0 千円
移転作業経費	20,734 千円	0 千円	0 千円
消費税	13,387 千円	11,716 千円	1,671 千円

令和3年度補正予算について

移転先施設の展示工事や展示内容の充実等を図るため、しょうけい館機能強化事業を国において令和3年度補正予算に481,496千円計上、令和4年度に108,900千円を使用し、再度、令和5年度に繰り越した上で、しょうけい館において当該事業を実施予定。

・運営の基本的考え方

1．しょうけい館移転に関する業務の完遂

- ・令和5年度は、現施設での通常運営に加え、秋に予定しているしょうけい館の移転後も、円滑な運営を引き継ぎ、来館者をはじめ、様々関係する団体・組織などに、細心の配慮をもって対応してまいります。

(1) 収蔵資料や図書の安全な移動と保管

- ・これまで収蔵してきた資料・図書を、細心の注意を払って移送、保管を完遂します。
 - ・現施設で展示資料および図書を新施設への移設
 - ・現施設の収蔵庫から外部倉庫への移動保管
 - ・外部倉庫の収蔵資料の一部入替

(2) 新施設での安定した運営対応への尽力

- ・新施設は、現在の単独運用ではなく、複合ビル内での運営となることに加え、収蔵庫も原則、外部倉庫での保管に変更するため、来館者への対応はもちろん、職員の業務においても、一日も早く、安定した環境構築に努めます。

(3) 現施設の閉館まで安定した運営と新施設の案内告知

- ・一般来館者はもとより、友の会会員をはじめ、関連施設および各学校など団体・組織などに向けて、友の会通信や広報誌、またチラシの配布、はがきなどの郵送のほか、ホームページでも案内してまいります。

2．コロナ対応社会での活動指針

- ・令和5年5月8日より、新型コロナウイルスが5類に引き下げられることが決定しましたが、一方でまだ変異を重ね、現在もなお社会生活における行動に影響を及ぼしていることも慎重に考慮し、来館者の安全衛生を最優先に考えた施設運営を基本原則としてまいります。具体的な感染対策の運営内容については、日本博物館協会が定める「感染拡大ガイドライン」の今後の更新情報や、主要他館の動向などを参考に厚生労働省の指導に基づき推進してまいります。

(1) 適切な感染予防対策の継続的な実施

- ・アルコール消毒と検温は継続実施を想定し、体調不良者の隔離や救護体制も適切に対応します。

- ・マスクの着用について、令和5年3月13日から個人の判断が基本となったことを受けて、しょうけい館でも同様の取り扱いとすることとしました。

引き続き日本博物館協会がガイドラインを更新した場合には、他館の動向などにも注視しつつ、慎重に対応いたします。

(2) コロナ感染醸成を理由に休止していた活動再開の検討と実施

- ・令和4年度は、当館の活動を概ね再開することができました。
(・団体見学・団体見学者用語り部講話・語り部派遣講話・こども霞が関見学デー参加・夏休み3館めぐりスタンプラリー)
- ・団体見学者への学芸員による展示解説(フロアレクチャー)は、展示室の通路が狭く、来館者の密集・密接のリスクを払しょくできないため中止し、代替え活動として、シアターのスクリーンを使用した展示ガイダンスを行ってきましたが、運用再開を検討します。
- ・企画展などの催事に連動した講演会などの再開も、併せて検討します。

・個々の事業についての計画案

1．展示関連事業

(1) 企画展

- ・令和5年度夏の企画展は、移転に伴い現施設を閉館するため行わず、移転後に改めて、開催することとし、様々な視点から戦傷病者の証言や貴重な資料に基づく、それら労苦を伝える企画展を、新施設に最適化した開催を目指してまいります。
- ・新施設の企画展においては、これまでの運用実績や来館者のご意見などを踏まえ、開催期間を長く設定して、より認知いただけるよう開催してまいります。

特別企画展「水木しげるの戦争体験（仮称）」

- ・開催期間：令和5年 新施設開館日～令和6年3月3日(日)（予定）
- ・現施設で、水木しげるさんの戦中戦後の労苦に関する特別展示は、今もなお、多くの来館者が閲覧されており、新施設開館の特別企画展としてふさわしく、また、新たな資料なども加えることも検討し、充実化して開催することを目指します。

春の企画展（企画案準備中）

- ・開催期間：令和6年3月5日(火)～6月2日(日)（予定）
- ・春休みからGWに合わせて開催していましたが、開催期間を約3か月間に変更し、戦傷病者の様々な労苦を、より多くの来館者に閲覧・理解していただけるようにいたします。

(2) ミニ展示からコレクション展示へ

- ・現施設において、新着寄贈資料を含め過去に受け入れた資料を選定し、身近なテーマ設定で、誰もが興味をもって見ていただけるような企画にまとめ、企画展の合間に小規模な展示を定期的に行っていましたが、新施設では、コレクション展示として位置づけ、企画展の開催期間にかかわらず、通年でコレクション展示室にて展示していく予定です。
- ・施設移転の準備作業の状況を踏まえながら、内容および期間は、調整します。

(3) 証言映像上映

- ・令和5年度も、証言映像をより効果的に来館者へ伝えるために、理解しやすいテーマで上映プログラムを構成します。

(4) 3 館連携企画展

- ・開催期間：令和 5 年 12 月 9 日（土）～12 月 19 日（火）宮城県仙台市で開催予定
- ・戦傷病者とその労苦を象徴的に伝える収蔵品を中心に、戦傷病者の労苦にリアルに迫る展示を行い、併せて戦傷病者の証言映像も上映します。
- ・また、本連携企画展は、移転後初めての館外開催となることもあり、新施設の紹介などにおいても、有効な展開を検討・推進してまいります。

2 . 資料保存関連事業

- ・施設移転に伴い、これまで収蔵された様々な資料について確認と照合を行い、速やかな移動に尽力するとともに、適宜、保管状況等の確認をしてまいります。

(1) 資料寄贈

- ・施設の移転にかかわらず、令和 5 年度も個人からの資料の寄贈を引き続き積極的に受け付けていく予定です。
- ・令和 4 年度寄贈資料数（令和 5 年 1 月末現在）
実物資料 287 点（寄贈実物資料総数 30,576 点）
図書資料 68 点（寄贈図書総数計 6,900 点）

(2) 資料の購入

- ・陸海軍病院関連資料及び軍事保護院関係資料を優先的に、企画展及び証言映像などで活用出来るものを適宜購入しています。戦傷病者等労苦継承事業調査検討委員会報告書（平成 16 年）を参考に購入を検討していきます。
- ・令和 3 年度購入資料数（令和 4 年 1 月末現在）
実物資料 49 点（購入実物資料総数 1,331 点）
図書資料 20 点（購入図書総数 3,509 点）

(収蔵資料数 参考値)

	実物		図書		
	令和 4 年度 (1 月末まで)	令和 3 年度 (累計)	令和 4 年度 (1 月末まで)	令和 3 年度 (累計)	
寄贈	287	(30,289)	68	(6,832)	寄贈資料総数
	30,576		6,900		37,476
購入	49	(1,282)	20	(3,489)	購入資料総数
	1,331		3,509		4,840
	336	(31,571)	88	(10,321)	(総合計)
	実物資料総数 31,907		図書資料総数 10,409		42,316

3．教育啓発関連事業

(1) 次世代の語り部事業

- ・育成事業は、令和4年1月に3期生の研修が修了し、計画の3期が完了していますが、1名が持病悪化による療養のため、研修を一時中断しています。現在も治療中のため、引き続き回復を待って研修再開します。（修了時期は未定。）
- ・語り部事業の活動として、団体見学者への講話と、希望する団体への派遣講話は、既に再開しており、令和5年度も引き続き推進いたします。
- ・更に安定した活動の継続を目指し、定期講話会やオンライン講話会なども引き続き検討し、語り部活動の充実を目指します。
- ・また、語り部の勉強会や、他団体の語り部の方々との意見交換会なども検討し、各々の技術向上や、知見の深化拡大に寄与できるよう検討していきます。

(2) 証言映像

- ・令和5年度は、証言映像の収録は行わない計画としています。

4．情報センター関連事業

(1) データベース・検索システム

- ・令和5年度は、データサーバーのリースが切れることに加え、施設移転もあるため、この機にサーバーの入替を実施し、これまで蓄積したデータの引継ぎと確認を行います。

5．普及・広報事業

(1) ホームページ

- ・令和5年度は、移転を機に、現在の情報ネットワークに適したホームページにとしてリニューアルし、これまで整理、蓄積してきた各種活動の情報などを、より効果的に発信しやすい環境にできるよう推進します。
- ・特に常設展示室の展示内容の詳細を紹介するページを拡充し、オンラインでの展示情報の提供機能を強化します。
- ・語り部講話活動など安定して推進するために、オンライン講話の開催や、講話を撮影した動画配信等なども、引き続き検討していきます。
- ・ネットワーク型コンテンツでは、令和4年度のこども霞が関見学デーで、試験的にオンラインプログラムでの参加を行い、有効性と様々な課題が検証できました。効果的に運用・活用できるよう、引き続き検討・検証します。

(2) しょうけい館友の会

- ・ しょうけい館友の会については、友の会通信第 16 号を 6～7 月に、第 17 号を 2～3 月に発行を予定しており、企画展等の告知の他、データベースへの情報掲載や資料寄贈の依頼など、引き続き各種情報提供とともに情報収集を行っていきます。
- ・ 特に 16 号においては、見出しの情報として、移転の案内を行います

(3) 各広報誌への掲載

- ・ コロナ対応社会で最も拡充すべき活動が、ホームページなどのネットワークプラットフォームを活用した情報発信となります。
- ・ 特にリニューアルオープン時には、積極的な広報に努めます。

(4) リニューアルオープンに係る催事の実施

- ・ 令和 5 年秋の移転に際し、リニューアルオープンセレモニーを実施し、旧日本傷痍軍人会会員やそのご家族、関係議員など幅広い関係者を招待して P R に務めます。